

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理国語	普通科2年(S・A共通)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 論理国語（大修館）
	<input type="checkbox"/> 論理国語 学習ノート（大修館）
	<input type="checkbox"/> 問題集
	<input type="checkbox"/> 現代文単語帳

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようする。	協働的かつ対話的な活動をとおして、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
30%	50%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解できている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解できている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	B 評価の規準 [思考・判断・表現] ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができている。 ・多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができている。 ・文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな視点から自分の考えを深めることができている。	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。 ・学習課題に沿って、本文の内容や表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。
※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	世界を広げる「批評」の言葉	4	語彙、表現
5			筆者の意見や根拠の読解

6	ミロのヴィーナス	6	語彙、表現（比喩） 芸術論について 資料との比較
7	コミュニティから見た日本	5	語彙、表現 資料と関連づけた読解 論の展開（対比）
8	科学は生きている	7	語彙、表現 論の展開 自分の考えを述べる
9		4	筆者の視点や展開の理解
10	「方言コスプレ」現象	5	語彙、表現 論の展開（対比）
11	デジタル地図から見える世界	4	語彙、表現 本文と引用文との関連性
12	分かち合う社会	7	語彙、表現 複数資料の読解 要旨の理解
1	心に「海」を持って	3	語彙、表現 論の展開（具体例）
2	現代日本の開化		本文を踏まえた自分の考えをもつ
3	人工知能の可能性と罷		

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
文学国語	2年普通科A類型	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 文学国語（教研出版） <input type="checkbox"/> 文学国語 準拠ノート <input type="checkbox"/> 問題集 <input type="checkbox"/> 国語便覧 <input type="checkbox"/> 現代文単語帳
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
30%	50%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 ・本文を読み取ることを通して、読書の意義と効用についての理解をおおむね深めることができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成と展開を踏まえ、表現がもたらす効果について、おおむね理解することができている。 ・作者の経歴と作品の成立背景を調べ、作者の心情をおおむね理解し、作品の解釈を深めることができている。 ・複数の文章を比較することで、それぞれの表現方法にはどのような違いがあるかをおおむね考察することができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を踏まえて粘り強く本文設定の考察に取り組んでいる。 ・学習課題を踏まえて話し合いや記述などの言語活動に粘り強く取り組んでいる。
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	山月記	5	語句・表現
5			心情の整理
6			本文の主題の理解
7	無用の人	4	語句・表現
8			心情の整理
9			本文を踏まえた題名の考察
8	山椒魚	4	語句・表現
9			心情の整理
10			寓意を踏まえた主題の理解
10	詩歌「表札」「発車」	3	韻文の鑑賞

			語句・表現
11	文学のふるさと	4	語句・表現
12			筆者の主張を読み取る
1			語句・表現
	演技する「私」	4	筆者の主張を読み取る
			文学作品の語りの特徴
2			語句・表現
3	古典と現代語訳『源氏物語』	4	複数文章の比較
			表現の特徴についてまとめる

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
古典探究	2年普通科A類型文系	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 古典探究（教研出版） <input type="checkbox"/> 古典探究 準拠ノート <input type="checkbox"/> 古典の手引き <input type="checkbox"/> 古典の手引き 定着ノート <input type="checkbox"/> 古文单語 3 1 5 <input type="checkbox"/> クリアカラー国語便覧 <input type="checkbox"/> 問題集
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できている。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できている。 	<p>B 評価の規準 [思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて書き手の考え方や目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の見聞と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができている。 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の意味を主体的に調べ、自らの語彙を増やそうとしている。 作品や作者について、時代背景も踏まえたうえで、粘り強く考察しようとしている。 学習課題について粘り強く取り組もうとしている。
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p> <p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	説話『十訓抄』「大江山」	4	語句・修辞 和歌の解釈 主題の理解

5	故事「漱石枕流」	3	語句・修辞 発言の論理展開を理解する
6	歌物語『大和物語』「鳥飼の院」	4	語句・修辞 和歌の解釈
7			
8	思想 「道徳斎礼」「性善」「性悪」		語句・修辞
9	「無用之用」	4	主張の理解 各思想の特徴の理解
10	物語『源氏物語』「小柴垣のもと」	6	語句・修辞 登場人物の心情の理解 和歌の解釈
11	史伝『史記』「鴻門之会」	7	語句・修辞 登場人物の心情の理解
12	日記文学『更級日記』 「東路の道の果て」	5	語句・修辞 登場人物の心情の理解 作品の関連性
1	隨筆『方丈記』「ゆく河の流れ」	5	語句・修辞 本文の主題の理解
2	漢詩「鹿柴」「山中對酌」 「旅夜書懷」	4	語句・修辞 漢詩の解釈
3	歴史物語『大鏡』 「花山天皇の出家」	6	語句・修辞 登場人物の心情の理解 作品そのものの意義

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	普通科2年 総合ビジネス科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 新高等地図（東京書籍） <input type="checkbox"/> 資料集 新編フォトグラフィア地理図説 2024（とうほう）
------	---

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事情について、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICTも活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようとする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しょすることの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B評価の標準 [わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げることができる。 各時間の「問い合わせ」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。 	<p>B評価の標準 [よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して、 <ul style="list-style-type: none"> ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見い出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。 	<p>B評価の標準 [粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 <p>[自分なりの工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学びの振り返りを生かして、ノートの取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い合わせ」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 <p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、 単元テスト及び定期考査でも行います。</p> <p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間、地球は眠らない。 ・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 ・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を使わない人は、ほとんどいない。 ・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。 ・このテーマ、どんな地図で表すべきか。 ・地図の可能性は、まだまだ広がる。
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地球は、どんどん小さくなっている？ ・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。 ・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。

			<ul style="list-style-type: none"> ・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。 ・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？
7	2-1-1 生活文化の多様性と 国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃがと言えば？「牛肉だ！」「豚肉だ！」 ・宗教に根ざした、習慣や文化がある。
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> ・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。 ・流れる川が、地形を変えていく。 ・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。
8	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。 ・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？ ・雨が少ない！どうやって水を得る？ ・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。 ・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？
9		4	<ul style="list-style-type: none"> ・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？ ・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。 ・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。 ・ものづくりも働き方も I C T が変えていく。
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？ ・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。 ・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。 ・ものづくりも働き方も I C T が変えていく。
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海に、何が起きているのだろう。 ・森林減少と砂漠化、その原因を探る。
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、欲しがる。だから、取り合いに。 ・地球を、「電池切れ」にさせないために。
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。 ・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、何を求めて都市に向かうのか。 ・なぜ、再開発が必要なのか。
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。
1	2-2-7 持続可能な社会の実現を めざして	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。
2	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> ・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。 ・四季ある国の、季節ごとの天候は？
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が発生するメカニズムとは、 ・くり返す地震を、災害史から学ぶ。 ・火山をよく知り、共存していくために。 ・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？ ・大雨で、あふれる水、何が起こるのだろう。 ・都市を襲う災害、危険はどこにある？ ・地域を災害から守るために、いま、できることは？

3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none">・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！・「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。・地域のこれからを、皆で考えていくために。
---	------------------	---	---

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
歴史総合	普通科 2年A類型	2	

使用教材	□教科書 現代の歴史総合～みる・読みとく・考える～（山川出版社）
------	----------------------------------

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代史の歴史の変化に関する諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関する諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げることができる。 ・各時間の「問い合わせ」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。	B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して、 ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見い出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。	B評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い合わせ」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 [自分なりの工夫] ・これまでの学びの振り返りを生かして、ノートの取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い合わせ」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、 単元テスト及び定期考査でも行います。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	結びつく世界と日本の開国	3	・18世紀の東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本
5		6	・産業革命 ・中国の開港と日本の開国
6	国民国家と明治維新	5	・市民革命 ・国民国家とナショナリズム ・明治維新 ・日本の産業革命
7		4	・帝国主義 ・変容する東アジアの国際秩序

			<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争と東アジアの変動
8	総力戦と社会運動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第一世界大戦の展開
9		6	<ul style="list-style-type: none"> ・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・アジアのナショナリズム ・大衆の政治参加 ・消費
10	経済危機と第二次世界大戦	5	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日中戦争への道 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会
11		5	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・日本の独立と日米安全保障条約
12	冷戦と世界経済	4	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・東西両陣営の動向と1960年代の社会 ・軍拡競争から緊張緩和へ ・地域連携の形成と展開
1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・計画経済とその波及 ・日本の高度経済成長 ・アジアのなかの戦後日本
2	世界秩序の変容と日本	6	<ul style="list-style-type: none"> ・石油危機 ・アジア諸地域の経済発展 ・市場開放と経済の自由化 ・情報技術革命とグローバリゼーション ・冷戦の終結とソ連の崩壊
3		6	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の東アジア ・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 ・地域統合の拡大と変容 ・地域紛争と国際社会 ・現代と私たち

令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導計画及び年間評価計画（兼シラバス）

科目	学年	教科書名・出版社	授業担当者	単位数			
	学科						
倫理	2年	詳述倫理・実教出版		2			
	普通科(A文類型)						
科目的目標							
<p>人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に關わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)</p>							
評価の観点別割合	知識・技能	40					
	思考・判断・表現	30					
	主体的に学習に取り組む態度	30					

定期考查実施時期：1学期期末考查(6月下旬)、2学期中間考查(10月上旬)、
2学期期末考查(12月下旬)、学年末考查(2月上旬)など

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					<p>【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度</p>
4	第1章 自己形成と自己の生き方	3	第1節 青年期の課題と自己形成	<input type="radio"/> 青年期とは何か <input type="radio"/> 自己形成の課題 <input type="radio"/> よりよい生き方を求めて <input type="checkbox"/> 青年期の特徴 <input type="checkbox"/> 防衛機制	<p>【知技】・青年期の特徴と意義について理解している。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解している。</p> <p>【思判表】・人生における青年期の特徴と意義について、多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・青年期の特徴や意義への深い理解を通して、課題について主体的に追究し、よりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>
4		1	第2節 人間とは何か	<input type="radio"/> 人間とはどのような存在であり、どのような特質をもっているのだろうか。 <input type="checkbox"/> 人間のさまざまな特質について理解する。	<p>【知技】・人間のさまざまな特質について理解している。</p> <p>【思判表】・人間の知性と感情の特徴について、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共にによりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>
5	第2章 人間としてのあり方生き方	7	第1節 ギリシア思想	<input type="radio"/> 自然哲学 <input type="radio"/> ソフィストとソクラテス <input type="radio"/> プラトン <input type="radio"/> アリストテレス <input type="radio"/> ギリシア思想の展開 <input type="checkbox"/> 古代ギリシャ思想 <input type="checkbox"/> ヘレニズム思想	<p>【知技】・自然哲学やソクラテスを理解している。 ・プラトンとアリストテレスの考え方の違いについて理解している。</p> <p>【思判表】・魂がどのようにあるべきかについて具体的な事象と関連づけながら、適切に表現している。 ・中庸や正義を、具体的に考察している。</p> <p>【主体的】・ギリシア思想の理解を通して、哲学的に考察する意義を見出し、自己のあり方生き方について深く考えようとしている。</p>
6		3	第2節 キリスト教	<input type="radio"/> 古代ユダヤ教 <input type="radio"/> イエス <input type="radio"/> キリスト教の誕生と展開 <input type="checkbox"/> ユダヤ教 <input type="checkbox"/> 原罪、贖罪思想 <input type="checkbox"/> キリスト教の展開	<p>【知技】・ユダヤ教、キリスト教の基本的な教えや性格について理解している。 ・贖罪思想について理解している。</p> <p>【思判表】・隣人愛を具体例を挙げて考察している。 ・キリスト教におけるイエスの死の意味について多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・キリスト教の成立やその広がりに関する理解を通して、その成立過程や影響力について主体的に追究し、理解を深めようとしている。</p>
6		1	第3節 イスラーム	<input type="radio"/> イスラーム <input type="checkbox"/> イスラームの成立 <input type="checkbox"/> 六信五行	<p>【知技】・六信五行の内容について理解している。</p> <p>【思判表】・イスラームの教えが国家、民族を超えて広く受け入れられているのはなぜか、イスラームの教えを踏まえて多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・人々の信仰と日常生活とが関わっていることに気づき、人間としてのあり方生き方に宗教はどのように影響しているかを考えを深めようとしている。</p>
6		3	第4節 仏教	<input type="radio"/> 仏教以前のインド思想 <input type="radio"/> ブッダの教え <input type="radio"/> 大乗仏教の成立 <input type="checkbox"/> バラモン教 <input type="checkbox"/> 原始仏教 <input type="checkbox"/> 大乗仏教の展開	<p>【知技】・業や輪廻について理解している。 ・苦の原因やそれがもたらすところを理解している。 ・空の思想や唯識思想の基本的な考え方を理解して</p> <p>【思判表】・ブッダの教えや理想とする生き方を踏まえて、自己のあり方生き方について多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・大乗仏教の理解を通して、その日本への影響に关心を広げ、思想内容を理解するための追究がでできている。</p>

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
7		3	第5節 中国思想	○「道」の自覚—孔子 ○儒家思想の展開 ○老莊思想 □諸子百家 □儒家思想 □老莊思想	【知技】・仁と礼について理解している。 ・儒家の考え方の共通性や違いを理解している。 ・道に即した生き方について理解している。 【思判表】・「仁」は、具体的にどのような生き方において実現されるのか、適切に表現している。 ・道について、具体的な場面を想定して考察している。 【主体的】・儒家思想や老莊思想を踏まえ、理想的な人間としてのあり方生き方について主体的に追究しようとしている。
7・8		1	第6節 宗教・芸術と人生	○宗教と芸術 □宗教と芸術の意義を理解する。	【知技】・芸術の意味について理解している。 【思判表】・宗教や芸術の意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的】・芸術への関心を広げ、人生において芸術や宗教が果たす役割について自ら追究しようとしている。
9	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方	3	第1節 人間の尊厳	○ルネサンス ○宗教改革 ○モラリスト □ルネサンスの群像 □ルター、カルヴァン □モンテニュ、パスカル	【知技】・ルネサンス期について理解している。 ・ルター、カルヴァンの思想について理解している。 ・モンテニュやパスカルの思想を理解している。 【思判表】・ルターらが宗教改革で果たした役割を多面的に考察し、表現している。 ・人間の尊厳について考察している。 【主体的】・ルネサンス期の理解を通して、人間らしいあり方生き方とは何か主体的に追究しようとしている。
9		2	第2節 科学・技術と人間	○近代の自然観 ○新しい学問の方法—経験論と合理論 □科学革命 □イギリス経験論 □大陸合理論	【知技】・デカルトの方法的懐疑や物心二元論などを理解している。 ・帰納法と演繹法を整理して理解している 【思判表】・「自然の支配」を考察している。 ・機械論的自然観が社会や人々に与えた影響について多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的】・近代の自然観の理解を通して、合理的なものとの見方や考え方につづき、自らの思考の仕方や生き方とつなげて追究しようとしている。
10		3	第3節 民主社会と自由の実現	○民主社会の形成—社会契約説 ○人格の尊厳—カント ○人倫—ヘーゲル □社会契約説 □ドイツ観念論	【知技】・自然状態と社会契約について理解している。 ・カントの超越論哲学、義務論を理解している。 ・精神と歴史の関係や弁証法について理解している。 【思判表】・社会契約説が登場した意義について多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的】・弁証法の考え方の理解を通して、個人として、また社会の一員としてよりよく生きる人間としてのあり方生き方を捉え直そうとしている。
10		3	第4節 社会と個人	○個人と社会との調和—功利主義 ○社会の進歩と変革 ○真理と行為—プラグマティズム □ベンサム、J·S·ミル □マルクス主義 □プラグマティズム	【知技】・功利主義の考え方について理解している。 ・マルクスの疎外や唯物史觀について理解している。 ・プラグマティズムの内容を理解している。 【思判表】・カントの動機説と対比して、功利主義の帰結主義について多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的】・社会進歩の負の側面に焦点を当てることを通して、現代社会の課題について主体的に追究し、社会のあり方を構想しようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
11		4	第5節 近代的人間の見直し	<input type="radio"/> 実存主義 <input type="radio"/> 無意識の発見 <input type="radio"/> 言語論的転回 <input type="radio"/> 構造主義 <input type="checkbox"/> 実存主義 <input type="checkbox"/> フロイト, ユング <input type="checkbox"/> white-genzenshutain <input type="checkbox"/> 構造主義	<p>【知技】・実存主義の思想を理解している。 ・フロイトの心の構造について理解している。 ・構造主義について理解している。</p> <p>【思判表】・「語りえぬもの」と「語り得ずただ示されるもの」との違いを、カントの議論を踏まえて考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・実存主義の理解を通して、人間としてのあり方生き方にについて主体的に追究し、自己を形成しようとしている。</p>
11		3	第6節 現代の暴力に抗して	<input type="radio"/> 生命への畏敬と非暴力の思想 <input type="radio"/> 理性、人間、他者の見直し <input type="radio"/> 公共性、正義、共通善の実現 <input type="checkbox"/> フランクフルト学派 <input type="checkbox"/> 正義論、共同体主義	<p>【知技】・フランクフルト学派が何を批判しているかについて理解している。 ・アーレントが重要視する活動について理解している。</p> <p>【思判表】・シュヴァイツァーやガンディーの思想をふまえ、人間の暴力性に対してどう向き合うべきかについて多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・公共性や正義の思想の理解を通して、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>
12	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	2	第1節 古代日本人の思想	<input type="radio"/> 日本人の自然観と気質 <input type="radio"/> 神との関わりと道徳観 <input type="checkbox"/> ケビハレ <input type="checkbox"/> ケガレ、ミソギ、ハラエ <input type="checkbox"/> 八百万の神々	<p>【知技】・和辻哲郎の類型について理解している。 ・日本人の道徳観を理解するにあたり、古事記などの原典資料を適切に読み取っている。</p> <p>【思判表】・日本人の道徳観や人生觀と、世界のそれとではどのような違いがあるか多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・日本人の道徳観の理解を通して、日本人としてのあり方生き方にについて主体的に追究し、自己を形成しようとしている。</p>
12		3	第2節 日本の佛教思想	<input type="radio"/> 佛教の受容 <input type="radio"/> 鎌倉佛教 <input type="radio"/> 佛教と日本文化 <input type="checkbox"/> 南都六宗 <input type="checkbox"/> 最澄、空海 <input type="checkbox"/> 法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮 <input type="checkbox"/> 佛教の日本の展開	<p>【知技】・佛教の受容について理解している。 ・鎌倉時代の佛教の特質を理解している。</p> <p>【思判表】・佛教の受容やそれが浸透した流れについて、自らの経験や考え方を手がかりに多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・日本人の美意識や無常觀の理解を通して、日本人としてのあり方生き方にについて主体的に追究し、自己を形成しようとしている。</p>
1		6	第3節 近世日本の思想	<input type="radio"/> 儒教の受容と朱子学 <input type="radio"/> 日本陽明学 <input type="radio"/> 古学 <input type="radio"/> 国学の形成 <input type="radio"/> 民衆の思想 <input type="radio"/> 幕末の思想 <input type="checkbox"/> 日本的儒学の形成	<p>【知技】・日本の朱子学、陽明学を理解している。 ・古学、国学、石門心学について理解している。 ・幕末の思想について理解している。</p> <p>【思判表】・江戸時代において幕府が朱子学を重視した背景について、多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・国学の理解を通して、日本としてのあり方生き方にについて主体的に追究し、理解を深めようとしている。</p>
2		6	第4節 西洋思想の受容と展開	<input type="radio"/> 自由民権思想 <input type="radio"/> キリスト教の受容 <input type="radio"/> 国家主義と社会主義 <input type="radio"/> 近代的自我の確立 <input type="radio"/> 超国家主義 <input type="radio"/> 伝統の自覚と課題 <input type="checkbox"/> 近代日本哲学の成立	<p>【知技】・明治初期の社会変化や啓蒙思想の流れを理解している。 ・近代日本哲学の成立と展開について理解している。</p> <p>【思判表】・「自己本位」と利己主義、「他人本位」と他者の尊重はどう違うか、具体的な例をあげながら多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・日本独自の思想の理解を通して、日本人としてのあり方生き方にについて主体的に追究し、よりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					<p>【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度</p>
3	第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第5章、第6章は①～⑥のうちからテーマを複数選択して学習する。	6 全 選 択 計	①第1節 生命の倫理	○生命をめぐる問題にはどのような倫理的課題があるのだろうか。 □代理出産や臓器移植、ゲノム編集など生命をめぐる問題について考察する。	<p>【知技】・インフォームド・コンセントやSOL、安楽死・尊厳死など生命倫理に関する用語や概念を理解している。</p> <p>【思判表】・生命をめぐる倫理的課題のうちで、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>
3		6 全 選 択 計	②第2節 環境の倫理	○環境問題を解決していくために、どのような倫理的な考え方・態度が求められているのだろうか。 □環境問題に関する思想家の主張を理解する。	<p>【知技】・ピーター＝シンガーやレオボルド、ハンス＝ヨナスなどの思想家の主張を理解している。</p> <p>【思判表】・ロールズの正義論の観点から現在世代と将来世代の間に平等や正義が成り立つか考え、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・環境保全や人間としてのあり方生き方に関わる課題について主体的に追究しようとし、問題解決に向けて自ら考え自ら行動しようとしている。</p>
3		6 全 選 択 計	③第3節 科学技術の倫理	○科学技術の発達に対して、倫理はどのように追いつき対応すればよいのだろうか。 □プライバシーの権利や情報リテラシー、人工知能などについて考察する。	<p>【知技】・プライバシーの権利や情報リテラシー、人工知能など科学技術をめぐる用語や概念について理解している。</p> <p>【思判表】・科学技術をめぐる倫理的課題のうちで、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・科学技術をめぐる倫理的課題への理解を通して、人間としてのあり方生き方を追究し、よりよく生きる社会を形成しようとしている。</p>
3	第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 第5章、第6章は①～⑥のうちからテーマを複数選択して学習する。	6 全 選 択 計	④第1節 福祉の課題	○人類の福祉を向上させるために私たちは何ができるのだろうか。 □ケアの倫理について理解する。 □ダイバーシティ&インクルージョンなどの抱える課題について考察する。	<p>【知技】・ケアの倫理やダイバーシティ&インクルージョンなどの抱える課題について理解している。</p> <p>【思判表】・ロールズとギリガンは社会の制度や道徳のあるべき姿について、どのように主張しているか読み取り、それを多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・人類の福祉への理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について追究し、よりよく生きる自己を形成しようとしている。</p>
3		6 全 選 択 計	⑤第2節 文化と宗教の課題	○文化や宗教について、どのような課題に直面しているのだろうか。 □グローバル化にともなう負の側面に着目する。 □文化相対主義やオリエンタリズム、宗教多元主義について学ぶ。	<p>【知技】・文化相対主義やオリエンタリズム、宗教多元主義など、文化や宗教をめぐる用語や概念を理解している。</p> <p>【思判表】・文化と宗教をめぐる倫理的課題のうちで、どのような争点があるかを整理して、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・文化と宗教への理解を通して、人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について追究し、よりよく生きる社会を形成しようとしている。</p>
3		6 全 選 択 計	⑥第3節 平和の課題	○現実に存在する紛争やテロをふまえて、世界の平和を実現するために何ができるか。 □世界の紛争やテロが発生している背景・原因に着目する。	<p>【知技】・世界の紛争やテロが発生する背景や原因について理解している。</p> <p>【思判表】・世界の平和をめぐる倫理的課題のうちで、どのような争点があるかを整理し、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的】・世界の平和への理解を通して、人間としてのあり方生き方について追究し、よりよく生きる社会を形成しようとしている。</p>

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学Ⅱ		数学Ⅱ：3	
数学A		数学A：1	
数学B	普通科A類型・2年	数学B：1	
数学C		数学C：1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 数学Ⅱ(数学A) 数学B 数学C (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 Study-Up ノート数学Ⅱ(数学I+A) 数学B 数学C
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようとする。	<p>以下の力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力 ・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力 ・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したり 	II ABC…数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	<p>する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力 ・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 	
--	--	--

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○観点別目標の達成や取組の状況において 「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上） 「おむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満） 「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満） と評価する。		
○知識・技能の評価問題（主に計算問題）を理解している。 [到達度チェックテスト] [定期考查] [授業時の解答状況等]	○思考力・判断力・表現力の評価問題（主に応用記述問題）を理解している。 [到達度チェックテスト] [定期考查] [授業時の解答状況等]	○授業に臨む態度等（日々の授業時） ○課題（宿題）等の取組・提出状況（プリント・ノート等） ○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト） ※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCAという評価はほぼありえない。）
定期考查の点数だけでなく、 <u>日々の授業の取り組み</u> を評価します。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	数学II 第3章 第2節 円	11	<ul style="list-style-type: none"> ・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円 <p>○到達度チェックテスト</p>
5	第3節 軌跡と領域	9	<ul style="list-style-type: none"> ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域 <p>○到達度チェックテスト</p>
	数学A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	12	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 ・作図 <p>○到達度チェックテスト</p>
6	第2節 空間図形	9	<ul style="list-style-type: none"> ・直線と平面 ・空間図形と多面体 <p>○到達度チェックテスト</p>
7	数学II 第4章 三角関数 第1節 三角関数	13	<ul style="list-style-type: none"> ・角の拡張 ・三角関数 <p>○到達度チェックテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角関数のグラフ ・三角関数の性質 ・三角関数を含む方程式・不等式 <p>○到達度チェックテスト</p> <p>● 1学期期末考查</p>
	第2節 加法定理	8	<ul style="list-style-type: none"> ・加法定理 ・加法定理の応用 <p>○到達度チェックテスト</p>
	数学II 第5章 指数対数と対数関数 第1節 指数関数	10	<ul style="list-style-type: none"> ・指数の拡張 ・指数関数 <p>○到達度チェックテスト</p>
8	第2節 対数関数	10	<ul style="list-style-type: none"> ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数 <p>○到達度チェックテスト</p>
9			

	“【数学B】 第1章 数列” 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列	14	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列と等比数列 ・いろいろな数列 ○到達度チェックテスト
10	第3節 漸化式と数学的帰納法	10	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式 ・数学的帰納法 ○到達度チェックテスト ● 2学期中間考査
	“【数学C】 第1章 平面上のベクトル” 第1節 ベクトルとその演算	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ○到達度チェックテスト
11	第2節 ベクトルと平面図形	18	<ul style="list-style-type: none"> ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示 ○到達度チェックテスト ● 2学期期末考査
	第2章 空間上のベクトル	4	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の点 ・空間のベクトル
12		12	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形 ○到達度チェックテスト
1	数学II 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	12	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式 ○到達度チェックテスト
2	第2節 関数の値の変化	14	●学年末考査 <ul style="list-style-type: none"> ・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用 ○到達度チェックテスト
3	第3節 積分法	10	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積 ○到達度チェックテスト

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
化学基礎	普通科・2年生(A 類型)	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎（実教出版） <input type="checkbox"/> 化学基礎 研究ノート <input type="checkbox"/> サイエンスビュー 化学総合資料（実教出版）
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働き、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、適切にメモに残している。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探求の問い合わせ】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考え方を記述</u> できている。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりと目的意識をもって行う観察、実験によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考查で主に判断します。		

特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	1章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		4	物質と元素
5	1章 物質の構成	4	物質と元素
		2	物質の三態と熱運動
6	1章 物質の構成	4	原子の構造
		3	イオンの生成
		2	元素の周期表
7	2章 物質と化学結合	4	イオン結合とイオン結晶
		4	イオン結合からなる物質
8			
9	2章 物質と化学結合	4	共有結合と分子
		4	分子間力と分子結晶

10	2章 物質と化学結合	4	共有結合からなる物質
		4	金属結合と金属結晶
		4	金属
11	3章 物質の変化	4	原子量と分子量・式量
		4	物質量
		5	溶液の濃度
		4	化学反応式
12	3章 物質の変化	5	酸と塩基
		5	酸と塩基の分類
		5	水素イオン濃度と pH
1	3章 物質の変化	5	中和と塩
		5	酸化と還元
2	3章 物質の変化	7	酸化剤と還元剤
3	3章 物質の変化	8	科学技術と化学

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	2年普通科・総合ビジネス科	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようとする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	B 評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしようとしている。 	B 評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行なうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p style="text-align: center;">特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

子首訂回

月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体つくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技 (選択①)	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
6	球技 (選択①) 水泳	2 8	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ 複数の泳法で泳ぐ、又はリレー。 着衣泳
7	水泳 体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
8	球技 (選択②)	2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技 (選択 2)	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン

			<input type="checkbox"/> バレーボール <input checked="" type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input checked="" type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input checked="" type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input checked="" type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	8	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input checked="" type="radio"/> ゴール型 <input checked="" type="radio"/> ネット型 <input checked="" type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input checked="" type="radio"/> ゴール型 <input checked="" type="radio"/> ネット型 <input checked="" type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	4	現代的なリズムのダンス <input checked="" type="radio"/> ゴール型 <input checked="" type="radio"/> ネット型 <input checked="" type="radio"/> ベースボール型

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	2年普通科・総合ビジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目的目標		
保健の見方・考え方を働きかせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・互いに協力して教え合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学、単元テスト
5	思春期と健康	1	座学、単元テスト
6	性意識と性行動の選択		調べ学習（グループワーク）
7	妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	6	
		1	クラス別発表（グループ）
8	働くことと健康		座学、単元テスト
9	労働災害と健康	2	
10	健康的な職業生活		
11	大気汚染と健康		調べ学習（グループワーク）
12	水質汚濁、土壤汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	3	
		1	クラス別発表（グループ）

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語 コミュニケーションⅡ	普通科・2年	4	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ <input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ スタディノート 単語・熟語 Brick I (いいづな書店)
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の標準</p> <p>[知識]</p> <p>各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけていく。</p>	<p>B 評価の標準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>B 評価の標準</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。</p>
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1	6	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2	6	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4	4	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5	6	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、 It seems that ~
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素
	Zoom in with コーパス 2	1	副詞

10	Lesson 6 Sounds Interesting 3	6 1	It is said that ~、形式目的語、助動詞 + have + p. p. 音のつながり
11	Lesson 7 Zoom in with コーパス 3	6 1	関係代名詞(所有格)、同格の that、前置詞+関係代名詞、関係副詞 パターンに注目
12	Lesson 8 Sounds Interesting 4	6 1	強調、関係代名詞(, which)、to have p. p. リズム
1	Lesson 9	3	譲歩、no matter how(where, when)
2	Lesson 9 Sounds Interesting 5	3 1	仮定法過去完了、分詞構文 イントネーション
	Lesson 10	4	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 Sounds Interesting 6	2 1	未来完了形、提案・命令・要求 弱形と強形

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理・表現Ⅱ	普通科・2学年	2	

使用教材	□教科書 EARTHRISE English Logic and Expression II Standard (教研出版)
------	--

科目の目標		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）のうち「話すこと」「書くこと」について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けるようする。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する力を養う。	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする力を養う。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようとする。	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようする。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 「外国語理解の能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 	<p>B 評価の規準 「外国語理解の能力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。 	<p>B 評価の規準 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考查で主に判断します。		

特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 How interesting Japanese Culture is!	3	さまざまな時を表す
	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	2	可能・義務・必要などを表す
5	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	1	可能・義務・必要などを表す
	Lesson 3 Precious water for all	3	「～される」を表す
6	Lesson 4 What has happened recently?	3	「～すること」などを表す (to do / doing)
	Lesson 5 I'm into music and movies!	1	doing / done を使って説明する
7	Lesson 5 I'm into music and movies!	2	doing / done を使って説明する
	Lesson 6 Where do you usually buy clothes?	3	人・物・時や場所などについて説明する

8	Lesson 7 What kind of books do you like best?	2	比較を表す
9	Lesson 7 What kind of books do you like best?	1	比較を表す
	Lesson 8 Inventions that changed the way we live	3	仮定を表す
10	Lesson 1 Can you come to our party?	3	感謝する／謝罪する
11	Lesson 2 I'm sure you can make it!	3	心配を述べる／励ます／感想を述べる
12	Lesson 3 How about trying this food?	3	提案する／勧誘する／好みを述べる
1	Lesson 4 Tips for staying healthy	3	助言する／忠告する
1	Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow	2	依頼する
2	Lesson 6 Where would you like to live in the future?	3	賛成する／反対する
3	Lesson 7 Which candidate is the right person?	3	意見を求める／意見を述べる